

## [ボクシング] 全日本アマ

### 川内 ライトウェルター連覇 — 大会MVPに

#### 五輪出場決定の実力！ 3年連続優勝

全日本アマチュアボクシング選手権が11月14日から18日まで、大分県の津久見高校体育館で開催され、川内将嗣(商4・龍谷高=11面にインタビュー記事掲載)がライトウェルター級で連覇を達成し、大会MVPを獲得した。05年にはウェルター級を制しており、同選手権で3年連続優勝した。川内は国体でも同様に3連覇を達成しており、3年連続で両大会を制したことになる。

1回戦をシードされた川内は、2、3回戦をともに2ラウンドRSC(レフリーストップコンテスト)で制し、決勝へ。「2、3回戦は内容も良かった。しかし、決勝では良い試合をしようと意識し過ぎてかんでしまった。相手とは何回か対戦したことがあり、お互いに手の内を知っていて、戦いづらかった」と振り返るが、的確な右のパンチでポイントをかせぎ、14-7で判定勝ちした。

また、友永志(商2・津久見高)がフライ級で出場したが、1回戦敗退に終わった。



▲ウェルター級連覇を達成した川内。決勝戦の様子

(新海 城生・経済3)

## [ゴルフ] 日刊アマ全日本シングルプレーヤーズ

### 高橋 2位タイと健闘

日刊アマゴルフ全日本シングルプレーヤーズ選手権が、11月1、2の両日、香川県高松市の鮎滝カントリークラブで開催され、高橋賢(経営3・アレセア湘南高)が首位と2打差の2位タイの好成績を収めた。

専大からは関東大会の予選、決勝を勝ち抜いた3人が出場。高橋は初日をトータル69の首位で折り返したものの、2日目はトータル75とふるわず、順位を落とした。「コンディションはあまり良くなかったが結果は上々。大会中はドライバーの調子が良く、ロングホールにもうまく対応できた。それだけに2日目前半の最終ホールは残念だった。ロングホールでバーディーを狙ったが、ティーショットをOBにしまい、ボギーをたたいてしまった。これがなければ、優勝に手が届いたかも」と話した。

また、来年度の同選手権のシード権を獲得し、「課題はアプローチの精度向上。来年も頑張ります」と意気込みを語った。これからの活躍に期待したい。



▼「調子が良かった」と言う高橋のドライバーショット

(新海 城生・経済3)

## [レスリング] 全日本大学

### 稲葉が55kg級初優勝 全日本学生と2冠達成

11月8、9の両日、内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権（フリースタイルのみ）が岐阜県中津川市の東美濃ふれあいセンターアリーナで行われ、稲葉泰弘（経営4・霞ヶ浦高）が55kg級で初優勝を遂げた。8月の全日本学生選手権でも優勝しており、学生2冠王に輝いた。

昨年3位に終わった稲葉は、決勝まで圧倒的な強さで勝ち進んだ。第1ピリオドこそリードを許したが、素早い攻めですぐに逆転し、栄冠を勝ち取った。「全日本学生で優勝していたので、今回も勝利への思いが強かった」と振り返り、「全日本選手権にもつながる試合ができたので、次も狙いたい」とさらなる栄冠への意欲を語った。



▼稲葉は終始攻めの姿勢を貫き、相手を圧倒した

また、120kg級で北村克哉（商4・日本工大付東京工高）が3位に入賞した。大学対抗は7位だった。

## [レスリング] 東日本学生新人戦

### 鈴木、平川が優勝

11月21、22の両日、東日本学生秋季新人戦が東京都・駒沢体育館で行われ、フリースタイル84kg級で鈴木聖二（経営1・岐阜工高）が優勝。グレコローマンスタイル120kg級でも平川臣一（商2・三井高）が優勝を果たした。鈴木は「高校時代に勝てなかった相手に準決勝で勝ち、勢いに乗った」と話し、平川は「相手も誰でも『絶対には負けない』という気持ちを持って試合に臨みました」と語った。

### 全日本へ9選手出場

専大からは全日本選手権（12月21～23日、代々木第2体育館）に9選手が出場することになった。活躍を期待したい。

（庄司 亮介・文1）

## [フェンシング] 全日本大学対抗・全日本学生

### 女子フルーレ団体準優勝

#### 男女ともエペ、フルーレで全日本出場へ

フェンシングの全日本大学対抗選手権・全日本学生選手権が11月12日から16日まで駒沢屋内球技場で行われ、団体戦では女子がフルーレで準優勝、エペで3位となった。男子はフルーレ、エペともに3位入賞。男女とも優勝にはあと一步届かなかったものの堂々の成績を残し、エペ、フルーレで全日本選手権(12月13～16日、大分県・日田市総合体育館)の出場権を獲得した。

日体大との接戦の末、優勝を逃した女子フルーレを振り返り、女子主務の高橋南(文3・聖霊女子短大付高)は「関東学生でも2位だったので、優勝を目指したが、残念。全日本選手権で好成績が残せるよう頑張りたい」と話した。

個人戦では、女子エペで本間志織(文3・札幌大谷高)が3位、藤池真理恵(商4・武生商高)が7位、フルーレ男子で阪野弘和(経済2・武生商高)が7位、同女子で高橋が7位、佐々木智子(経済4・八千代西高)が8位に入賞。本間、藤池、阪野、高橋の4人が全日本選手権への切符を手にした。

全日本選手権では念願の「団体戦優勝」を成し遂げ、笑顔で新年を迎えてほしい。

(馬場 雄也・ネット情報1)

## [馬術] 全日本学生

### 3種目総合で団体準優勝 個人・総合馬術 吉澤が準優勝

全日本学生馬術大会が10月30日から11月4日まで、JRA馬事公苑で開かれた。団体は障害飛越で3位、馬場馬術で4位、総合馬術で3位となり、3種目総合では惜しくも準優勝となった。

個人では、総合馬術競技で吉澤和紘主将(経営4・西宮香風高)・エンドーペロー号が準優勝を果たした。調教審査、耐久審査は好成績だったが、余力審査で減点。優勝は逃したが、力強い騎乗で主将としての存在感を示した。吉澤主将は、障害飛越でも6位に入賞。



また、馬場馬術で高山健一郎(商4・向陽台高)・ダーククリスタル号が決勝に駒を進め、10位と健闘した。

▲力強い騎乗で主将としての存在感を示した吉澤

富沢健悟監督は「精いっぱい、力の限りやった結果で悔いはない。4年次生はチームを良くまとめ、好成績を残してくれた」とたたえた。

## [馬術] 関東学生女子

### 鶴林が優勝

#### 全日本学生に4人出場

11月18日、同じくJRA馬事公苑で行われた関東学生馬術女子選手権で、鶴林舞(商1・市立前橋高)が優勝を果たした。同大会と、同日行われた関東学生選手権の結果、鶴林を含めた4人が12月の全日本学生選手権の出場権を得た。

(久田 照喬・商1=写真も)